在宅療養者の服薬管理に関する課題と解決策について

参考資料2

課題

（具体的な事象）

1	**薬剤情報を一元管理できない** 【情報共有、一元化】 【患者・家族の理解、市民啓発】	・同効薬の重複投与 ・併用禁忌薬の投与 ・不要な薬の継続投与
2	**在宅療養者の服薬管理不良を早期に発見できない** 【関係機関連携、服薬支援】 【支援者への啓発】	（飲みすぎにより） ・薬の不足 ・中毒・副作用が生じる （飲めなくなることにより） ・多量の残薬が生じる ・病状悪化
3	**服薬を支援する支援者同士の連携・情報共有が不十分** 【情報の一元化】 【関係機関連携、服薬支援体制】	・スムーズな支援が行えない
4	**残薬調整されずに処方が継続** 【患者・家族の理解、市民啓発】 【関係機関連携、服薬支援体制】	・多量の残薬 ・服用の効果が無いと判断され、医師の処方薬が増量

解決策

- 情報を一元管理する仕組みづくりとツールの活用・見直し
- かかりつけ薬局の推進
- 服薬管理に関する知識の普及（介護関係者）
- 関係機関の役割と相談・対応方法の共有化
- 関係者者同士が情報共有する方法の確立
- 残薬調整に対する啓発（関係者、市民）
- （薬局による）医師への処方調整の相談

情報共有ツールに関すること

- お薬手帳の関係者間共有の徹底、様式等の工夫・見直し
  - ・再交付時の記入の簡素化の工夫
  - ・関係者記入欄等の充実
  - ・薬局への携行の徹底（市民向け）
- 電子お薬手帳の更なる普及
  - ・薬局・医療機関での対応端末の普及促進
  - ・市民への普及・啓発
  - ・電子お薬手帳の機能拡張 （ICTの活用）
- 情報提供書の活用
  - ・薬剤情報に特化した情報共有ツールの作成
  - ・病院間、病院と薬局間等による活用
  - ・診療情報提供書等の既存ツール活用の拡大

関係者の連携に関すること

- 服薬管理に関する役割シート、相談・対応フロー図（関係者向け）の作成と共有
  - ・手引き書の作成
- 高齢者の服薬管理不良を共有するためのアセスメントツールの作成
  - ・医師や薬局等に相談・報告が必要な場合を理解するための資料の作成

市民や関係者への普及・啓発に関すること

- かかりつけ薬局の推進
  - ・関係者向けかかりつけ薬局の選び方フローチャートの作成や（既存)リストの広報・提供の工夫等
  - ・市民向けリーフレットの作成、市民や関係者向けにセミナーやシンポジウムの開催
- 服薬管理支援に関する研修（関係者向け）・テキストの共有（冊子・タブレット版）
  - ・薬に関する一般的な知識
  - ・相談・報告が必要となる高齢者の状況
  - ・服薬管理に関わる多職種の役割
  - ・高齢者の服薬管理不良の現状について
- 残薬調整に関する啓発と実践（市民・関係者向け）
  - ・かかりつけ薬局と関係機関との連携による実践の取り組みを推進
  - ・市民・関係者向けリーフレット作成
  - ・関係者向けの研修